

**1. 活動報告（事務局 記）**

- 3月5日（日）参加者18名にて、（1）安全柵の取替え（水車周辺、湿地帯北側）、（2）池の橋支柱の修復、（3）通路の草刈り一部、（4）田んぼ避けじの溝あげをしました。昨日より元会員の古富さんから杭用桧として頂いた材料を運搬し、今日も残りを運搬して次の安全柵修復の準備も出来ました。
- 3月5日 ネイチャークラブの方々がビオトープや昭和山遊ロードを利用し行事をされました。
- 3月7日 地区会員数名による、湿地帯と池島の草刈及び不要廃材処分をしました。
- 3月18日（土）12名の参加を得まして、1）童滝の下流部の淵整備、2）水車周辺の安全柵を引き続いて修復、3）4月第三土曜日の餅つき用ヨモギの摘み取り、4）椎茸の収穫 を行いました。参加された会員の方には雨の中ご苦労様でした。

**2. 今後の予定（事務局 記）**

## ◎ 見学者

- 4月22日宇部ファミリサポートのビオトープでの行事の案内依頼（案内者2～3名要望あり）
- 4月より ネイチャークラブが毎月ビオトープで散策活動をされます。岡田さんより（案内者不要です。）
- 子どもエコクラブの毎年のビオトープでの行事依頼（日程不明）ただし案内者2～3名要望あり

## ◎ 行事

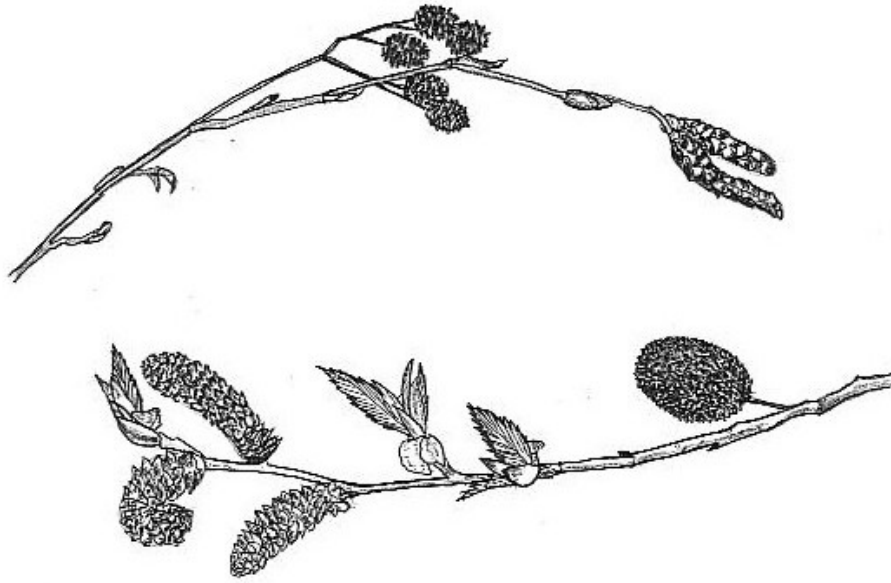
- 3月28日（火）役員会および監査
- 4月2日（第一日曜日）の活動（総会）
- 4月15日（第三土曜日）の活動（草餅つきの後従来の活動）  
午後は里山自然観察隊の18年度発会式。あわせ第一回里山の観察活動（食べられる野草）  
※草もち用よもぎ採りは前もって計画中です。

**3. ビオトープ関連（ビオトープ周辺の植物） 美濃和 信孝****ヒメヤシャブシとオオバヤシャブシ**

早春の山で目立たないながら花を付けている木があります。ヒメヤシャブシとオオバヤシャブシです。ヤシャブシは、漢字で書くと「夜叉五倍子」、夜叉は実の表面がゴツゴツしていることから、五倍子はフシとって、この球果からタンニンをとったことに由来します。昭和山遊ロードでは、山頂付近にオオバヤシャブシが、少し下って天堤あたりの道沿いにヒメヤシャブシが生えています。ヒメヤシャブシの特徴は、小さめのマツカサ状の球果を3～6個付けることです。これから咲く花穂は、オオバヤシャブシに比べると細長く、垂れ下がります。北海道から四国にかけて自生する落葉低木で、禿げ山に植栽するので、ハゲシバリとの別名があります。昔は瀬戸内海沿岸域のマツ林にはたくさん生えていたらしいですが、遷移が進んで今は少なくなってきたようです。

オオバヤシャブシは、大きな球果を通常1個だけ付けるヤシャブシで、葉も大きく幅広です。本来は、伊豆諸島、関東南部および和歌山県南部の沿岸地域だけに分布する落葉樹ですが、ヒメヤシャブシと同じように空中窒素の固定能力があり、痩せ地でも育つので、治山や法面などの緑化用に多く用いられるようになりました。また、このようにして植えられた木から種子が散布され、自然に生えてくることが多いので、山沿いの道路際など地面が攪乱された場所で見られる機会が多い樹木です。

昭和山のオオバヤシャブシもそのようにして生えてきたものと思われます。カバノキ科の樹木はすべて風媒花ですから、花時期にはたくさん花粉を飛ばします。近年、オオバヤシャブシの花粉でも花粉症が起こることが判明し、都会のまわりでは植えるのを控える傾向にあるようです。



ヒメヤシャブシ (カバノキ科)

オオバヤシャブシ (カバノキ科)

#### 4. ビオトープ関連 (会員の声) (岡谷 政宏 記)

##### 参加できる喜び

岡谷政宏と申します。周南市より去年の秋から作業に参加させていただいています。

実は数年前から何度もこちらのビオトープに来ることはあったのですが、その当時からきれいに整備されているのを見て感心していました。そしていつも利用するばかりじゃなく、いつかはお手伝いできたらなと思っていました。しかし当時の私は仕事が土日に集中していて、全く活動に参加することは考えられませんでした。

2年程前に入院し仕事からは解放されたのですが、今度は歩けなくなってしまい、ある程度普通に動けるまでかなりの時間が必要でした。去年になってそこそこ作業が出来るほどになったので、参加させていただきましたが、まだ重いものは持てないし走ることも出来ませんので、少しはお役に立てているのか心配です。

作業は打ち合わせはあるものの、皆さんの手馴れた様子とスムーズに進むさまは見ていて関心しました。

今は本当に楽しいです。回数はまだまだ少ないものの、蕎麦の植え付けや収穫に参加できました。平日に訪れて白い花が満開の畑を見たときは本当に感動しました。今年はお蕎麦を食べたいものです。

毎回参加できず申し訳ありませんが、なんとか邪魔にならない程度にお手伝いさせていただきたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

次回は藤井祐子会員にリレーします。宜しく

## 5. 来訪者の声 (東屋のノートより一部抜粋)

- 3月10日 弁当を持参しゆっくりすごしたいと思います。整備される方は大変ご苦勞様です。有難うございます。宇部市野中2丁目 島谷利夫、和子 檜垣豊彦、文子
- 3月15日 里帰りのため宇部空港より通りあわせ犬の福を連れよりみちをしました。メダカやおたまじゃくしが元気に泳いでいて春のおとずれを感じました。いろいろな季節に来た  
いです。 横浜より 清水 福

## 6. 会よりの連絡事項

- 1) 総会が開催されます。“皆で仲良く活動しているので総会と言う大げさなものは、する必要は無いのでは”と言う声も有ります。しかし会員みなさまから、会費を集め、案内料を会費として頂いたり各種団体より助成金を頂いております。したがってボランティア法人ではありませんが、きちっとした会計監査、報告等が必要となってきます。また活動も皆で考え、検討して里山ビオトープとして本来の道を外れないよう考える会にしたいと思います。会員全員の出席を重ねてお願いするものです。
- 2) 事務局個人のお願いですが4月中旬より事務局を離れ連絡が途絶えてご迷惑をかけることが多くなると思われます。どなたか他の会員の方にお問い合わせの機会が多くご迷惑をお掛けしますが宜しくお願いしたく申し上げます。今のところ7月初めまでです。
- 3) 名前の募集  
先日の活動で童滝のすぐ下側の淵が良く観賞できるよう下刈りをしました。そこから上側の童滝を見ると淵と滝の景観が非常によく皆様にお勧めするスポットと思います。  
したがって名前を募集し、看板を立てようと思います。参考にここは「カジカ」の鳴き声も5月頃は聞こえる場所です。

## 7. 編集後記

大村さんからバトンタッチを受けて、初めての編集後記を書こうとしています。

さてさて、うーん！何を書けばよい？　そこで、いざ、ビオトープへ。

ん！耳を澄ませてみれば、そこかしこから、ひそひそ、ひそひそ、聞こえてきます。「寒かったねえ！今日は暖かいなあ！ぼちぼち、活動開始だな」、風の声でしょうか、虫の声でしょうか、魚かな？それとも、綿毛にくるまれた、ヤナギの芽が暖かい風に吹かれて「気持ちいいね！」とささやいているのでしょか。

水の中では、オタマジャクシもずいぶん大きくなりました。メダカの運動会も盛んです。

生き物たちは、目を覚まし、動き始めましたが、自分はというと、花粉症に悩まされ、最もつらい時期なのですが、冬眠からさめるときのショック療法？（花粉症が、まさかね！）と考え、気にすることもなく（近頃いい薬があるので助かってます）、最もうきうきした季節の到来、体がうずうずしています。と、普通の年ならなるのですが、先日、腰のあたりで軽くギクッと音がしたのです。初めての経験です。特に支障はなかったものの、まだ、違和感があります。早く直すぞ！

(藤井 義晴 記)